

夏の9

広報

平成15年 NO.596

自然の中に飛びだそう

特集 体験に学ぶ

- その1 ふるさと教室
- その2 ボランティアキャンプ
- その3 根雨スポーツ少年団



特集 体験に学ぶ

子どもたちはさまざまな体験を通して、何をどう感じているのでしょうか

昨年からはまった完全学校週5日制。子どもたちは地域の中で過ごす時間が多くなりました。

現在、子どもたちに自然体験・生活体験・社会体験などの経験を積んでもらおうとさまざまな催しが開かれています。

学校を離れて地域の中で、子どもたちは何をどう感じているのでしょうか。

今回は「ふるさと教室」「ボランティアキャンプ」「根雨スポーツ少年団」の活動を紹介します。

ふるさとを知ろう

町内小学5・6年生が町の歴史や産業を学ぶ

ふるさと教室



吉田智紀さん
根雨小学校5年生
環境を大切に

きれいな水に生まれ変わる排水処理場が印象的でした。環境についてももっと真剣に考えたいと思いました。

子どもたちの声



後藤千里さん
黒坂小学校5年生
町の歴史を学ぶ

初めて知る町の歴史がいっぱいありました。中でも因幡二十士の歴史が学べて良かったです。来年も楽しみです。



黒坂地区の文化遺産などを学ぶ小学生たち

町内に残る貴重な文化遺産や産業に実際に触れ、次代を担う子どもたちに、ふるさとを大切にする気持ちを高めてもらうと、8月18日、ふるさと教室が、黒坂地区を会場に開かれました。

町内の小学5・6年生62人が参加。日野町歴史研修会の川上護さん(根雨)、牧智也さん(黒坂)の説明を聞きながら、大国主命を主祭神とする聖神社、因幡二十士の遺品・遺墨が残されている泉龍寺、農業集落排水処理施設や菅福食文化伝承館などを次々に訪れました。

参加した生徒たちは「自分の住んでいる町でも知らないことがたくさんあった」などと感想を話していました。

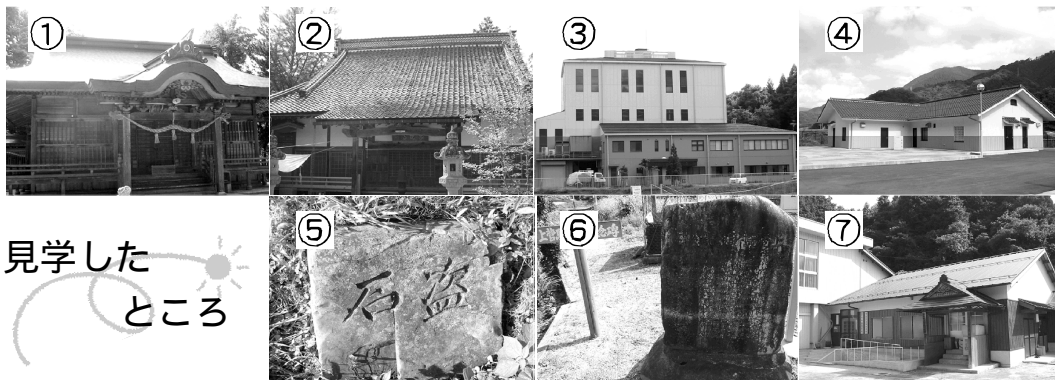
同教室は、町内小学5・6年生を対象に根雨と黒坂地区で、毎年交互に開かれています。来年は、宿場町として栄えた根雨地区の歴史や文化、施設などを見学することになっています。

実際に見て感じること

郷土愛を育むには、まず町を知ることから始まります。そして、実際に見て感じる事が大切。育ったふるさとをいつまでも忘れないでほしい。とても良い機会なのでこれからも続けてほしいです。



川上護さん 牧智也さん
日野町歴史研修会



見学したところ

- ① 聖神社
- ② 泉龍寺
- ③ くぬぎの森
- ④ 黒坂地区農業集落排水処理施設
- ⑤ 盗石
- ⑥ 上菅駅新設記念碑
- ⑦ 菅福食文化伝承館

野外活動の楽しさを体験

子どもたちに野外活動を体験してもらおうと、8月23・24日（1泊2日）、ボランティアキャンプが、滝山公園（中菅）で開かれました。

子どもから大人まで40人が参加し、公園内の清掃・自炊・川遊び・キャンプファイヤー・天体観察・花火大会などさまざまな野外活動を体験しました。

参加者は、活動を通してお互いの交流を深め、奉仕活動の大切さなどを実感しました。



食事も自分たちで調理。食材をていねいに切る子どもたち

自然体験の中で

多くのことを学ぶ

8月23・24日、1泊2日のスケジュールでボランティアキャンプ（略ボラキャンプ）が、滝山公園内で開かれました。

ボラキャンプは、子どもたちや保護者、青年団員などがいっしょになって野外でキャンプ生活や公園内の清掃活動を行い、お互いの交流や野外活動の中から何かを学んでもらおうと、昨年から町青年団が企画。今年は、完全学校週

5日制導入にともない立ち上げられた「町子ども週末活動支援ボランティアセンター」などと協力して開きました。

清掃活動・川遊び
自炊に花火大会など

今年は、園児から保護者、町青年団、関係者ら40人が参加。公園内の清掃活動・自炊・川遊び・キャンプファイヤー・天体観察・花火大会など楽しい野外活動を体験しました。

きれいな公園は
とても気持ちがいい

始めに各班に分かれて公園内の清掃活動をしました。

滝山公園は、春のツツジ、夏の涼、秋の紅葉と多くの観光客が訪れる場所とあって、多くのゴミがあると思われるでしたが、約1時間かけて回収したのは少量のゴミだけ。子どもたちは「どうしてかな、もつとあると思ったのに。でもきれいな公園は気持ちがいい」と話していました。

理由は、翌日分かりました。地元の方々が、定期的に清掃しているということでした。子どもたちは、偶然に出会った地元の人たちの清掃活動に感心していました。

ボラキャンプ



長住早紀さん（舟場）

清流の中で自然の滑り台で遊んだことが楽しかったです。みんな進んで活動していました。ヤル気があれば何でもできるはずです。



音田光一さん（高尾）

かま作りが大変だったけどみんなで協力しました。花火大会が楽しかったです。2日でたくさん体験し、自分に自信が持てました。



吉田結有帆さん（根雨）

自分で炊いたご飯はとてもおいしかったです。夜の空は星がいっぱいできれいでした。日野町には素晴らしい自然がたくさんです。

自発的に行動 経験を生かす

野外活動で子どもたちは、自分たちでできることは自発的に進んで挑戦していました。薪集めにしても、大きな木は自分で判断し、ノコギリで切ったり、一人では重くて持てないときは、声をかけ合い協力して運んでいました。上級生の子どもは、下級生のめんどろを良く見て「何でも経験。やってごらん」と、きちんと教えていました。以前のキャンプで失敗したご飯も経験を生かし、今回はおいしいご飯が炊き上がりました。昼のカレーライスの味を聞いたところ、「お米がふっくらして光っている。自分で

炊いたご飯はおいしいです」とおかわりをしていました。

何でも挑戦 主役は自分たち

2日間のボラキャンプを終えた子どもたちは「何でも挑戦すればできると思った」「奉仕活動の大切さを実感した」「大人から多くのことを教わった」などと感想を話していました。何が楽しかったのか聞いたところ「川遊び」「テントでの会話」「花火」と話し、全員が「夏休みのいい思い出になりました」と2日間を振り返っていました。

2日間のキャンプを裏で支えた

町青年団のみなさんお疲れさまでした。

三好達也さん（右上）＝子どもたちは2日間とてもたくましく感じました。

入澤真人さん（右下）＝夏休みのいい思い出になってくれればうれしいです。

川上茂芳さん（左上）＝子どもたちは元気な笑顔がとても印象的でした。

吉原尚志さん（左下）＝たくさん経験を積んで、たくましく育ってほしいです。



早朝から元気な町青年団

自然の中で学

ボランティアキャンプ 略してー



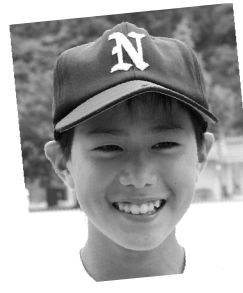
加藤貴浩さん
根雨小6年生



生田瑞樹さん
根雨小4年生



足立繁幸さん
根雨小6年生



杉原準基さん
根雨小6年生

根雨スポーツ少年団



廣川孝さん
根雨小5年生



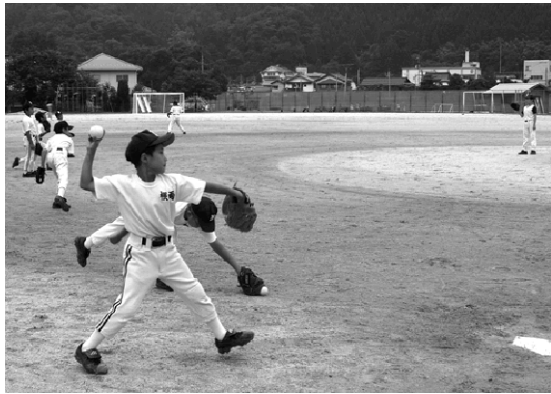
音田智希さん
根雨小5年生



砂原基さん
根雨小5年生

21 の輝く笑顔 野球を通してたくましく

「カキーン、オーライ、ナイスキャッチ」根雨小学校のグラウンドでは、放課後になると白球を追う根雨スポーツ少年団の子どもたちの元気な声が響いています。



大きな声を出しながら練習する子どもたち

根雨スポーツ少年団は、昭和58年に前身の根雨少年野球クラブがスポーツ少年団に加入して誕生。今年で創立20周年を迎えました。部員は現在、小学1年生から6年生までの21人。最近

は子どもの数が減り、3年前から黒坂小学校の子どもたちも加わり、いつしよになって大好きな野球を楽しんでいます。

「練習は厳しい？遊びたくない？」と聞くと、子どもたちは「遊ぶよりも野球をしていた方が楽しいよ。だって野球が好きなんだもん」と日焼けした笑顔から明るい声が返ってきます。

保護者も「学年を越えた交流が図れ、人間関係の幅が広がった」「正義感や忍耐力が強くなった」「毎日が生きいきしている」などと子どもたちの成長ぶりを話します。

創立以来、多くの子どもたちが入部。野球を通してたくましく育ち、多くのことを学んでいます。監督・コーチは子どもたちとともに汗を流し、地域に根ざしたスポーツ活動を目指しています。根雨スポーツ少年団の石田裕二監督、キャプテンの杉原準基さん、保護者の杉原晋也さんに話を聞きました。

根雨スポーツ少年団

部員 = 1年生から6年生の21人（根雨小・黒坂小合同チーム）
練習 = 週3回、約2時間（土・日曜日は大会や練習試合など）
練習場所 = 根雨小学校グラウンド
代表者 = 杉原晋也さん（安原）
監督 = 石田裕二さん（安原）
コーチ = 西村伸一さん（下榎）・石田大介さん（下榎）

最近の主な成績 平成12年 = 全国スポ少交流大会出場・中国地区学童軟式野球選手権大会準優勝 平成13年 = 郡スポ少交流大会優勝・県学童軟式野球大会県大会ベスト4 平成15年 = 県学童軟式野球大会県大会出場・ろうきん杯準優勝など多くの大会で上位進出。



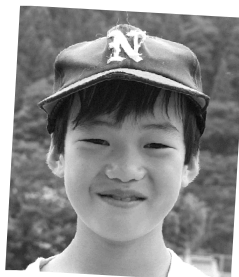
西村光貴さん
根雨小5年生



長住雅之さん
根雨小3年生



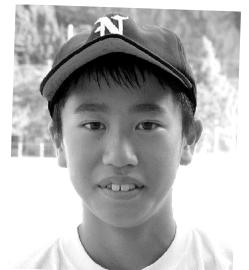
松原広学さん
根雨小5年生



佐々木健太さん
根雨小4年生



佐野友香さん
根雨小6年生



小谷一起さん
黒坂小6年生



長尾隼さん
黒坂小5年生



キャプテン
杉原準基さん
1試合1試合がんばります。

野球が好きだからがんばれる
お兄ちゃんが野球をしていたので、あこがれて入部しました。今年の6月にあった江府町大会で優勝したことがとてもうれしかったです。
野球が好きなので、きびしい練習にもがんばれます。いつも応援してくれる保護者の皆さんに感謝しています。



監督
石田裕二さん
輝きが違います。全員、日々切磋琢磨しながら精神的にも強くなっています。

子どもは子どもらしく元気が一番
22年間、指導を続けています。日ごろから「野球選手の前に児童であれ」と言っています。子どもは、子どもらしく元気が一番。それに集中力が大切です。野球のプレーや勉強などにも言えることです。子どもは目を見れば分かります。ヤル気のある子は目の



三島秀典さん
黒坂小6年生



大垣駿平さん
根雨小1年生

部員募集
野球をしてみたい人、興味のある人を募集しています(学年は問いません)。
「親が忙しくて大会等についていけない」「送り迎えができないのでー」などの心配はいりません。みんなで協力し合いながら、野球を通して、子どもたちの健全育成を目指しましょう。
お気軽にご連絡ください。
【連絡先】杉原晋也さん(安原)
電話72・0686



保護者
杉原晋也さん
我が子も入部してから忍耐力和人間関係が広がりました。

勝利の喜びと続ける大切さ
子どもたちには、勝つ喜びと最後までやり通すことの大切さを学んでほしいです。それに、何事にも目標を持ち、時間を大切に練習してほしいです。毎日、厳しい練習をしています。だからこそ試合に勝った時の笑顔は最高。子どもたちから感動と元気をもらっています。



檀田大輝さん
根雨小4年生



矢田貝祐輔さん
黒坂小6年生



加藤楓さん
根雨小6年生



小谷恭平さん
根雨小5年生



内藤秀幸さん
黒坂小6年生

支援者のつながり

重要性などを伝える



活動報告する渡辺さんと山下さん(右)

7月26日、宮城県北部で発生した宮城県北部連続地震の震災復興支援に日野町のボランティア団体「日野ボランティアネットワーク」のメンバー4人が、8月4日から約10日間、被災地である宮城県南郷町で支援活動を行い、8月19日、老人福祉センターで活動報告会を開きました。

同ネットワークの山下弘彦さん(根雨)に現地での様子や活動内容を聞きました。

震度6強の大地震

すぐに情報収集を

7月26日、宮城県北部で震度6強の地震があったということを知り、とてもおどろきました。

国内では震度6強を記録したのは、鳥取県西部地震以来のこと、とても他人ごとではありませんでした。すぐに日野ボランティアネットワークのメンバーたちと連絡を取り合い情報収集を始めました。

自分たちでしか

伝えられないことが

現地の状況を知り「震災を経験した自分たちでしか伝えられないことがあるのではないか」と現地支援を検討。同ネットワークの渡辺大吉さん(米子市)、山垣浩功さん(米

子市)、森本智喜さん(倉吉市)とともにボランティアを受け入れている宮城県南郷町に出かけることにしました。

日野ボランティア

センターから派遣

日野ボランティアセンターの支援を受けて派遣という形で、8月4日、日野町役場前にメンバー4人が集合。多くの方々からの活動支援を受け、役場から支援物資を預かり、車で出発しました。

宮城県に入ったのは翌日の昼で、矢本町の被害状況を見ながら南郷町に入りました。

地震後1週間

屋根にはシートが

南郷町は、地震発生から1週間経過していたため、多く



宮城県南郷町での復興支援活動や現地の様子を報告をする山下弘彦さん



7月26日、宮城県北部で震度6強(M6.2)を観測。6弱も2度あり、激震が3回も襲った。

の家の屋根には応急処置のブルーシートが張られていました。また、家屋の解体作業(すべて自費解体)や家屋判定が始まった時期でもあったので、被害を受けた家もそのままの状態。特に一部地域に被害が集中していました。

ブロック塀は、以前発生した宮城県沖地震の教訓もあってか補強しており、以外と倒壊していませんでした。

ニユースでは、南郷町にスポットが当てられていたため被害が大きいのかわれがちなことでしたが、災害救助法が適用された南郷町、鳴瀬町、矢本町、河南町、鹿島台町の被害規模に大きな差はありませんでした。

主な活動は センター運営を支援

南郷町での活動期間は、約10日間でした。同行した渡辺さんは、現場での作業ボランティアとして活動し、山垣さん、森本さんと自分(山下)の3人は、主にスタッフとして災害救助ボランティアセンターの運営を支援しました。滞在中は、日野町での震災復興の経験を生かし、運営な

どに関し気付いたことや培ったノウハウなどを伝えました。

シート張りの ノウハウが生きる

すでに住民ニーズの聞き取り調査も行われていました。平地の農村地域で高齢者人口が27パーセントを越える町だけに「稲の世話をしなければならぬが家の片付けがあつてできない」という声があり、経済的、精神的にも大きな負担がかかってくると思われまふ。今後も多くの方が出てくると思われるので、これからも意見を幅広く聞き取ることも必要と提言しました。また、屋根のシート張りのノウハウを伝えたところ、その印刷物が南郷町で全戸配布されるといふ大きな反響もありました。

ボランティア体制の 整った南郷町

南郷町は他町と比べ、ボランティア救援活動がとてモスムーズに進んでいました。震災当初より、ボランティアのノウハウを持った町外、県外団体や東京災害ボランティアセンターネットワーク

などNPOを受け入れ、社会福祉協議会(以下社協)とともに「南郷町災害救援ボランティアセンター」を開設。社協職員が提言に耳を傾けられたことが良かったと思います。他町は、社協、町災害対策本部が「自町だけの運営体制で十分」と判断。体制の考えの差が大きく、実際には、十分に住民ニーズを吸い取れない状態で、救援活動の差が出ていました。

南郷町災害救援ボランティアセンターも開設時には混乱もあつたということでしたが、到着時には分業化された運営体制のもとスムーズに救援活動が進んでいました。

支援者のつながりや 今後の問題を伝える

現地活動で感じたことは、役割分担が明確された運営面でのスムーズさ。南郷町は、災害救助に関する活動をNPO等の団体から社協職員を中心とするスタッフにうまく引き継がれていました。その体制づくりには、学ぶことがとても多くありました。実際に現地に行き、事例を学びながら経験していくとい

うことはいいことだと感じました。ノウハウやマニュアルだけでなく、その地域にあつたやり方を考えていかなければならないと思います。

南郷町では、これから考えられる問題や支援者のつながりの大切さなどを伝えることができました。今後も震災後の住民ニーズなどの資料提供を続けていきます。そして、南郷町以外の町村、関係団体にも情報提供し、ネットワークを広げていきたいと思っています。

震災から3年 広がるボランティア

日野町も震災から3年が過ぎようとしています。現在ある要望も震災関係から日常生活の要望へと変わり、落ち着いてきたと感じられます。

日野ボランティアネットでは、高齢者プレゼント企画などさまざまな活動を続けています。町内でも少しずつですが、ボランティアの輪が広がってきていると思います。これからも多くの人々がボランティアをきっかけにきずなを強め、一人ひとりが支え合える明るい町になればと思います。



アマチュア音楽活動家のコンクールで グランプリを受賞 安達知幸さん(根雨)



ステージで熱唱する安達さんら

アマチュアの音楽活動家が創作したオリジナル曲のコンクール「第3回とっとり西部アマチュア・サウンド・グランプリ」ほづき星を探索(同実行委員会主催)が、8月23日、米子市文化ホールで開かれ、安達知幸さん(根雨)が最高賞のグランプリを受賞しました。

コンサートは、応募のあった曲(総数52曲)の中から15曲を審査で選考。選ばれたグループが音楽祭でグランプリを目指すもので、鳥取県西部の文化活動の振興や地域の活

性を図ろうと3年前から開かれていきます。

安達さんは、曲に出てくるせりふを担当する上田昌司さん、柴田澄貴さん、山根隆嗣さん(3人は大阪の専門学校生)とコンクールに応募。審査で選ばれ音楽祭に出場し、

観客が気に入った曲を選ぶ「オーディエンス特別賞」と最高賞の「グランプリ」の二つの賞を獲得しました。

発表曲は、いつまでも変わらない友情を歌った「BE MY FRIENDS FOREVER」で、安達さんが学生時代に仲間と作った曲をアレンジ。曲の出だしがせりふで始まる特徴的な曲で、当時の思いを振り返りながら作り上げました。

安達さんは、9月23日、文化センターで開かれるコンサート「流れ星を救え」にゲストとして招かれ、受賞曲を披露することになっています。



グランプリに輝いた安達知幸さん(根雨)

多くの人に感謝

まさか自分たちが受賞するとは思わなかったので、選ばれた時はびっくりしました。友人、姉など多くの人のおかげでこの曲ができました。とても感謝しています。

受賞曲のCDを図書館に寄贈しようと思っていますので、聞いていただけたらうれしいです。今後も、聞いてくれた人が共感してくれるような曲をたくさん作っていきたいです。機会があれば発表していきたいと思っています。

行政相談週間 10月20日～26日

公共サービスなどの 困りごととは行政相談へ

行政相談は、毎日の暮らしの中で、国・県・町・公団の仕事や手続き、

サービスなどに関する苦情や意見・要望などを相談する場所です。

総務大臣から法律に基づき委嘱された行政相談委員が、公平で中立な立場から解決の手伝いをします。

日野町では、景山享弘さん(三谷)が委嘱され、毎月行政相談を開いています。

電話番号 景山享弘さん(自宅 72-0292 勤務先 0859-32-2500)

わたしが行政相談委員です



景山享弘さん(三谷)

今年の4月から委嘱を受けました。どんな小さな悩みでも個人の問題として投げ出さないで、どうぞお気軽にご相談ください。皆さんからの町づくりへの要望・意見をお待ちしています。



行政相談は下記の日程で開いています。

相談は無料で、秘密は固く守られます。

お気軽にどうぞ。

場所 山村開発センター

時間 午前9時～午前12時まで

10月18日(土)・11月15日(土)

12月20日(土)・1月17日(土)

2月21日(土)・3月20日(土)

秋の 9月~10月 催しを紹介



町民体育祭

とき 9月28日(日)両会場午前9時~
ところ 根雨会場 根雨小学校
黒坂会場 黒坂小学校
全町民が参加する運動会。各組に分かれ、リレーや花吹雪など楽しい種目で体力増進を目指します。



全町一斉防災訓練

とき 10月6日(月)午前9時~
サイレンで合図します
ところ 町内全域
地震による災害発生を想定し、避難訓練を行います(事前に決められた内容に従ってください)。



滝山公園紅葉マツタケまつり

とき 10月12日(日)午前10時~
ところ 滝山公園(中管)
秋の味覚の王様、マツタケがどっさり当たる楽しい催し。
現在、前売り券を販売しています。前売り券には、おいしいマツタケ飯がついています。



詳しくは役場企画振興課まで
(電話 72-0332)



マンホールの中は、家庭から出る油成分がいっぱい

公共下水道・農業集落排水処理施設を利用の皆さんへ

大切に使いましょう みんなの下水道

一人ひとりが ルールを守って

皆さんが毎日使っている下水処理施設に、最近、普段では流れ込まない異物が流れ込んでいます。

下水道は、自然や生活環境をより良くするためのものです。下水道を使う一人ひとりがルールを守って上手に使うことを心がけましょう。

下水道の施設は大部分が地

下にあります。そのため、詰まった時の修理が大変困難になります。異物が詰まると汚水の流れを悪くし、処理施設が正常に機能しない事態になってしまいます。

何でも流すと 故障の原因に

トイレには、トイレットペーパー以外の物は流せません。水に溶けない紙(紙おむ

つ・生理用品・テッシューパーなどは、絶対に流さないでください。

また、天ぷら油、ビニール類、タオルやタバコ、ゴム製品などを流すと詰まりやマンホールポンプの故障の原因になりますので、十分気をつけてください。

【お問い合わせ先】

役場地域整備課

(電話 72 2101)

みんなのひろば

災害復興に役立ててほしい

宮城県北部連続地震の義援金活動 日赤日野町奉仕団

日赤日野町奉仕団は、8月14日から21日にかけて、町内で宮城県北部連続地震の災害義援金街頭募金活動をしました。7月26日に宮城県北部で震度6強を記録した宮城県北部

連続地震。3年前に発生した鳥取県西部地震の際に多くの人から受けた恩を返したいと募金活動を始めました。

8月21日には、根雨地内のショッピングセンター前で街頭募金。買い物に訪れた人々は「がんばってください」と激励しながら次々と募金活動に協力していました。

飯島好江代表は「震災時には、多くの人に支えられました。その時の気持ちは今でも忘れられません。自分たちができることで支援していきたいです」と話していました。

集められた義援金は、日本赤十字社に送られ、宮城地震義援金として役立てられます。



募金活をする日赤日野町奉仕団たち

ふるさとの

祭りを楽しむ

奥渡夏まつり

夏を彩る恒例の第20回奥渡夏まつりが、8月14日、奥渡公民館広場で開かれ、楽しい催し物に多くの人が暑さを吹き飛ばしました。

夕やみせまるころから祭りは始まり、子どもや大人も会場内に組まれたやぐらを囲み、日野町音頭や傘踊りなどを踊ったり、ジャンケン大会などの楽しい催しなどで盛り上がりました。

お盆で里帰りした人など約100人が訪れ、会場は夜遅くまで和やかなムードに包まれていました。



楽しい催しに盛り上がる会場



サッカーを通して交流を深める子どもたち

お互いの技術を磨き合おう

根雨SCがサッカー交流

サッカー交流を通して、お互いの技術向上や親睦を図ろうと、8月16日、根雨サッカークラブ（奥田研二監督）と西宮少年サッカークラブ（兵庫県西宮市）のサッカー交流会が、根雨小グラウンドで開かれました。

交流会は、合宿先を探していた西宮SCに町内在住者の方が紹介したのがきっかけで、子どもたちは、いっしょに練習したり、試合などをして技術の向上を図りました。

試合後には、いっしょに遊んだり、バーベキューや花火をして交流を深めました。

野外活動で

交流を深める

奥日野交流会

野外活動を通して、日野町と日南町子どもたちが交流を図る「奥日野交流会」が、8月23日・24日、カヌーの里（安原）で開かれました。

この日は、日野・日南両町の小学生13人が参加。カヌーやキャンプなどの野外活動や学習会を通して交流会を深めました。

日南町子どもたちのほとんどが、初めての力ヌー体験で、日野町子どもたちは、操作方法などを教えていました。この交流会は、毎年、両町交互に開かれています。



夕食のバーベキューを囲み交流を深める

豆力士の

好取組に歓声

下榎すもう大会

下榎の摩利支天神社の伝統的な行事、下榎すもう大会が8月23日、同神社広場で開かれました。

夕方から始まった大会には、町内外から多くの子どもや大人が参加。各部門ごとに力を競い合いました。

なかでも小学生以下の豆力士たちの取組には大きな声援が飛び、とても盛り上がりつつありました。

参加した西村彩花さん（6歳、下榎）は、「1回だけ勝ちました。相手を投げ飛ばした時がうれしかったです」と笑顔で話していました。



暑さを吹き飛ばす熱戦に歓声上がる



指導を受けプランターを作る児童ら

花がいっぱいの

きれいな町へ

根雨小学校の児童が木製プランターづくり挑戦

花のあるきれいな町を目指すとして、9月1日、根雨小学校の児童が、木製プランターカバークリに挑戦しました。町商工会関係者3人を講師に招き、同小学校5・6年生が、金づちやドリルを使い木製のプランターカバークリを約50個作り上げました。

同校5年生の木山陽平さんは「心を込めて作りました。きれいな花が咲いてほしいです」と話していました。

今後、小学校では、カバークリに塗料を塗り、学校内で育てているペゴニアの苗を町内に置くよう予定しています。

新芽を食べて

健康な体に

おしどり調剤薬局が

ブロッコリー新芽を栽培

栄養の高いブロッコリーの「新芽（スプラウト）」を、おしどり調剤薬局有限会社（宇田勲代表取締役）が、9月8日から本格的に栽培出荷を始めました。

宇田勲さんは、1年半前から「多くの人に食べ物で健康になってほしい」と研究を重ね、発芽野菜に含まれる豊富な栄養分に注目。ミネラルやビタミンが豊富で、成熟のものより数十倍の免疫力が含まれていることから、ブロッコリーの「新芽栽培」を考えました。下菅の工場ですべて無農薬で栽培され、宇田さんは「今後、特産品のそばや玄米の新芽を作り、みなさんの食生活改善を手がけていきたい」と抱負を語りました。



新芽を紹介する石田さん

指で描く芸術に感動

指画家 濱田壽峰さんの第2回郷里がえり展



子どもに指画を指導する濱田さん

日野町根雨出身で中国に伝わる珍しい画法の指画家、濱田壽峰さんの郷里がえり展が、8月21日から24日まで、山村開発センターで開かれました。

展示会には、筆を使わず手・指・爪などで描く指画や水彩画など約90点を展示。訪れた人々は、色鮮やかなオンドリや牡丹など多くの絵を見て感動していました。

また、8月22日には、指画のすばらしさを多くの人に体験してもらおうと、体験教室が同会場で開かれました。

子どもから大人まで22人が参加。濱田さんの指導のもと、野菜「かぼちゃ」を描きました。濱田さんは「指画は心が伝わりやすい。無心で書くことが

大切です」と指導。教室に参加した音田里穂さん（根雨小3年・別所）は「思っていたよりも上手くできました。色を混ぜて表現するのが難しかったです」と自分の作品を満足そうに見ながら話していました。

9月4日には、濱田さんが「子どもたちの絵画活動に役立ててほしい」と水彩画と金一封を町に寄付。水彩画は、大山の南壁を背景に、わら屋根や菜の花などを描いたもので、昭和54年の日本水彩画展に入選した作品です。



水彩画「御機の春」を寄贈

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinolib@infosakyu.ne.jp

月～金 午前9時30分～午後6時
土・日 午前9時～午後5時

図書館情報

カレンダー

10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

○印が休館日です

おしらせ

木のおもちゃづくり

10月5日(日)
午前9時～
図書館車庫

布絵本づくり教室

10月6日(月)
午後1時～
カルチャールーム

図書館おはなし会

10月25日(土)
午前11時～ 図書館

展示コーナー

本や資料に見る地震 (仮題)

鳥取県西部地震
3周年を迎えて
10月1日(水)～

インターネットで蔵書検索をどうぞ

http://aspcenter.infosakyu.ne.jp/11is/top.htm



一つひとついいねいに作り上げる

出演者の子どもと大人たちは、細かい動きにいたるまで、汗だくになりながら繰り返し練習を重ねています。ときには、指導者の厳しい指導にうつすらと涙を浮かべることも。しかし、練習をやめてしまつ子はいません。この経験はきつと一人ひとりを成長させることでしよう。

10/19 (日) 星のおじいさま

わらべミュージカル

ありがとう

続報

今回は、舞台を陰で支えるボランティアについて紹介します。

皆さんに支えられ
舞台が作られる

舞台練習と平行して大小道具づくりも佳境です。一番の大物、大八車もようやく完成しました。

大八車の車輪だけは、根雨宿一番館に保存してあったものを借り、台の部分を作りました。製作途中には、近所の人など多くの方々の記憶や技術を借り、米俵もこの日のために作ってもらいました。くわや草むら、衣装も手作り。多くの皆さんの協力で舞台が作られていきます。

出演者から

星のおじいさま役
常田富士男さん

地元の伝説を素材にした手づくりのミュージカルに共演できてたいへんうれしく思います。いつまでも皆さんの思い出に残るようなステージになるようがんばります。

いよいよ本番近づくと

楽しいステージです。

どうぞお誘い合わせご来場ください。

わらべミュージカル

星のおじいさま ありがとう

【とき】10月19日(日) 午後2時開演

【ところ】町文化センター

入場料は無料ですが、整理券が必要です。整理券は、町図書館または町公民館にあります。



文化センターの催し

～たのしい催しがたくさん～

踊る大捜査線「レインボーブリッジを封鎖せよ」

とき 10月12日(日) 2回上映
午前10時30分～ 午後1時30分～
入場料 前売り券 中学生以下 800円(当日 1,000円)
高校生以上 1,300円(当日 1,800円)
さらにお得なペア券あります。

主催 米子駅前サティ東宝

日野中学校文化祭

とき 11月1日(土) 午前9時開演
内容 音楽発表・演劇など

10/12(日)
映画会

11/1(土)
文化祭

10月 ぐらしのカレンダー

OCTOBER (神無月)



1 水	発泡・蛍光管の収集日 (1班)	14 火	発泡・蛍光管の収集日 (7班) 1歳6か月・2歳児健診 開発センター 受付 午後1時15分~1時30分
2 木	発泡・蛍光管の収集日 (2班) 年金相談 開発センター 午前10時~午後2時	15 水	発泡・蛍光管の収集日 (8班)
3 金	発泡・蛍光管の収集日 (3班)	16 木	発泡・蛍光管の収集日 (9班)
4 土	日野川カヌースクール カヌーの里 (安原) 午前9時~午前12時	17 金	
5 日		18 土	行政相談 開発センター 午前9時~午前12時
6 月	不燃・資源ゴミの収集日 (黒坂・菅福地区) 全町一斉防災訓練 町内全域 午前9時~ (サイレンで合図します) 人権相談 開発センター 午後1時~午後3時 心配ごと相談・高齢者生活相談 開発センター・ 老人福祉センター 午前9時~午後3時	19 日	健康フェスティバル 開発センター 午前10時~ 要申し込み
7 火	発泡・蛍光管の収集日 (4班) 乳幼児相談 開発センター 受付 午後1時15分~午後1時30分 健康相談 町公民館 午前9時~午前10時	20 月	不燃・資源ゴミの収集日 (根雨・日野地区) 健康相談 開発センター 午前9時~午前10時
8 水	発泡・蛍光管の収集日 (5班)	21 火	古紙の収集日 (黒坂・菅福地区) すくすく親子教室 開発センター 午前9時30分~午前11時 根雨の街を散策
9 木	発泡・蛍光管の収集日 (6班) 不要犬・猫引取り日 日野保健所	22 水	
10 金	可燃粗大ゴミの収集日 (黒坂・菅福地区)	23 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
11 土		24 金	
12 日	滝山公園紅葉マツタケまつり 滝山公園 午前10時~ 日野郡駅伝競走大会・町駅伝競走大会 根雨小学校スタート 午後1時30分~ 開発センター休館日	25 土	生きいき”ひの”ふれあいまつり 黒坂小学校 午前9時~午後3時30分
13 月	可燃ゴミの収集は休みます (体育の日) 黒坂地区球技大会 黒坂小学校・日野高校 午前9時~	26 日	生きいき”ひの”ふれあいまつり 黒坂小学校 午前9時~午後3時 開発センター休館日
		27 月	古紙の収集日 (根雨・日野地区)
		28 火	可燃粗大ゴミの収集日 (根雨・日野地区) ツベルクリン反応検査 開発センター 受付 午後1時15分~午後1時30分
		29 水	
		30 木	B C G 予防接種 開発センター 受付 午後1時15分~午後1時30分
		31 金	町県民税3期分納期限 国民健康保険税4期分 納期限 介護保険料4期分納期限

直	総務課	72	0331	企画振興課	72	0332
通	地域整備課	72	2101	農林課	72	2102
電	議会事務局	72	0335	農業委員会	72	2103
話	給食センター	72	1167	福祉センター	72	2555
	根雨保育所	72	0238	日野保育所	72	1133

住民ふれあい課	72	0333	健康福祉課	72	0334
黒坂支所	74	0211	出納室	72	2105
教育委員会	72	2107	文化センター	72	1300
公民館	74	0212	下榎集会所	72	1191
黒坂保育所	74	0225	夜間・休日	72	0331

魚

アユ・ニジマス・ウナギ

たくさんつかまえたよ 帰省客も大喜び

黒坂カワコふれあい公園で魚とのふれあい交流

参加者の声

大阪市から帰省した
飛田弥咲さん(9歳)



おじいちゃんやおばあちゃん
が住んでいる自然がいっぱいの
日野町に来るのが好きです。
都市部に住んでいるので、魚
を取ったりする機会が少ないの
で楽しかったです。
魚は元気が良くてつかまえに
くかったです。また来年も里帰
りして参加したいです。

ふるさとに帰省した人たちが
などに自然と触れ合ってもら
おとと、8月14日、魚とのふ
れあい交流が、黒坂カワコふ
れあい公園で開かれました。
お盆で帰省した人など約1
50人が参加。公園内にある
池にアユ、ニジマス、ウナギ



公園内の池でアユなどの魚を追いかける子どもたち

この日は、小雨の降るあい
にくの天候でしたが、魚つか
みを通して都会から帰省した
人たちは、地元の人々と交流
を深めていました。

子どもたちは「ウナギもと
れました。とても楽しかった
ので、また参加したい」「魚は
すばやく逃げるので難しかつ
た」「魚をつかまえることがな
いので、いい体験になりました
」など話しながら楽しい
ひとときを過ごしました。



オシドリ シーズン到来

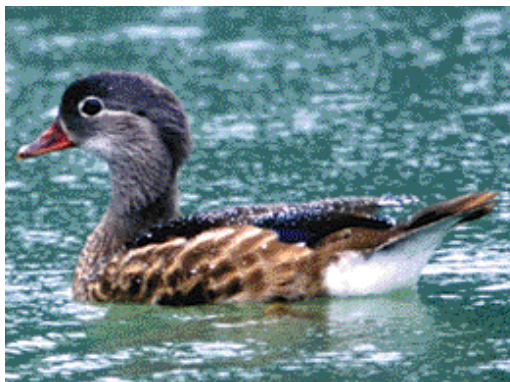
今年もオシドリが帰って来
る。きれいな日野川で迎えた
い。子どもたちにもそおとと、
そおととあわせてあげたい。

さち江さんより

オシドリ豆知識その2

オスは6月ごろ、羽の色が
変わりメスと同じような地味
な色になります(この羽をエ
クリプス羽と呼びます)。
メスは8月ごろに変わります
が、羽色はほとんど変わり
ません。

連絡先 オシドリグループ
事務局 森田(72 0271)



仮装大賞ください/わたしはオス
撮影 福丸政一さん(香川県丸亀市)

わたしの町

8月31日現在

(前月比)

人口 4,463人(+2)
男性 2,109人(±0)
女性 2,354人(+2)
世帯数 1,570戸(±0)

おくやみ

ご冥福をお祈りします

(氏名)

(年齢)

(住所)

8月
石田 松子 85歳 下榎

編集後記

9月号は、夏休み中とい
うこともあり、気付けば「子ども特集」
になっていました。多くの子どもたち
にインタビューをしましたが、紙面の
都合上掲載できませんでした(本当に
ゴメンなさい。次は必ず載せますので
ゆるしてくださいね)。取材先では、子
どもたちといっしょになって遊び、楽
しい夏の思い出ができました。また遊
びましょう。くれぐれもカメラ
と呼ばないように(笑)。小学生が「町
の催しについて教えてください」と取
材に来ました(話を聞くと学校で
ニュース番組を作るらしい)広報担当
者顔負けの質問に感心しました。今度
その番組を見せてくださいね。ある日、
青年が「ちゃん広報に出てたね」と
話しかけられ、照れくさそうに「いや
」と見ましたか」と話している会話を隣
りで聞きました。記事が話題のひとつ
に登場し、うれしかったです。取材の
苦勞も飛んでいきました。